

事 務 連 絡
令和5年10月26日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課 御中
附属学校を置く各国公立大学法人の
附 属 学 校 事 務 担 当 課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校事務担当課

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
文 部 科 学 省 初 等 中 等 教 育 局 児 童 生 徒 課

「ハンセン病問題に関する「親と子のシンポジウム」」の開催について（周知）

日頃より、人権教育の推進にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、法務省より、別添のとおり、「ハンセン病問題に関する『親と子のシンポジウム』」の開催に係る各都道府県教育委員会等への周知の依頼がございました。

本シンポジウムについては、文部科学省も法務省、厚生労働省等とともに主催するものであり、学校や社会教育施設等における人権教育や教職員向けの研修等としても活用可能なものです。

ついては、本シンポジウムについて、内容を御確認いただき、各都道府県教育委員会におかれては、域内の市町村教育委員会及び所管の学校に対して、各指定都市教育委員会におかれては、所管の学校に対して、各都道府県私立学校主管課におかれては、所轄する学校法人に対して、各文部科学大臣所轄学校法人担当課におかれてはその設置する学校に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の担当課におかれては所轄の学校設置会社に対して、各国立大学法人附属学校主管課及び各公立大学法人附属学校主管課におかれては、その管下の学校に対して、必要に応じて本件について御周知いただきますとともに、本シンポジウムの視聴やアンケートへの協力についても御案内いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、御不明な点等ございましたら、学校教育担当者におかれては初等中等教育局児童生徒課へ、社会教育担当者におかれては総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課へお問い合わせください。シンポジウムの内容に係る問合せや紙媒体のチラシを希望される場合（50部以上）は、チラシ中の「お問合せ先」に直接御連絡をいただきますよう、お願いします。

【本件担当】

＜学校教育に関すること＞

初等中等教育局児童生徒課指導係 電話：03-5253-4111（内線 3291）

＜社会教育に関すること＞

総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

共生社会学習企画係 電話：03-5253-4111（内線 3276）

法務省権啓第97号
令和5年10月24日

文部科学省

総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課長 殿
初等中等教育局児童生徒課長 殿

法務省人権擁護局人権啓発課長
(公 印 省 略)

「～ハンセン病問題を次世代に伝える～「親と子のシンポジウム」」の開催
の周知について（依頼）

当省の人権擁護行政の推進につきましては、平素から格別の御協力をいただき、
厚く御礼申し上げます。

今般、ハンセン病問題を決して風化させることなく、その正しい知識と理解を次
世代に伝えていくとともに、同じ過ちを繰り返すことなく、誰もが暮らしやすい社
会を実現していくことを目的として、別添のとおり、標記シンポジウムをオンライ
ン配信形式で開催する予定です。

本シンポジウムは、中学生や大学院生の登壇者によるパネルディスカッションや
著名人のトークショーを予定しており、ハンセン病問題について児童・生徒にも分
かりやすい内容としています。

つきましては、都道府県教育委員会を通じて学校等関係機関に対して、本シンポ
ジウムの視聴及びアンケートへの協力について御案内いただくとともに、児童・生
徒への周知についても配意方お願いいたします。

なお、都道府県教育委員会等において、別添のチラシを紙媒体で希望される場合
（50部以上）は、チラシ中の「お問合せ先」まで個別に御連絡をいただきますよ
う、併せて周知願います。

親子で真剣に
話し合ったことはありますか？

～ハンセン病問題を次世代に伝える～

親と子の シンポジウム

日頃、親子で何かについて一緒に考えることはありますか？

ハンセン病という病気について、当事者の方々の過去の体験を聴いて、感じたことを親子で話し合ってみませんか？

誰もが暮らしやすい社会を実現するためにはどうすればよいか、親子で一緒に考えるシンポジウムを開催します。

日時 令和5年 11月11日【土】
午後1時30分～午後4時

参加無料!!
オンライン開催
(YouTube LIVE配信)
途中参加可能

手話通訳、パソコン要約筆記あり
参加は下記から
<https://www.jinken-library.jp/news/detail/113102/>



事前
申込み
不要

※詳細は裏面

※諸事情により、内容が変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

内容

動画上映

人権啓発動画
「ハンセン病問題を知る
～元患者と家族の思い～」



基調講演 山岡 吉夫さん

国立療養所多磨全生園入所者
自治会会長

パネルディス カッション

コーディネーター
町 亞聖さん

フリーアナウンサー
元ヤングケアラー

パネリスト
松葉 悠乃さん

第41回全国中学生人権作文
コンテスト・内閣総理大臣賞
受賞者

コメンテーター
内田 博文さん

全国人権擁護委員連合会会長、
国立ハンセン病資料館館長

パネリスト
木村 直さん

東京藝術大学美術研究科先端
芸術表現専攻修士課程在籍、
写真家・アーティスト

コメンテーター
金 貴粉さん

国立ハンセン病資料館学芸員

パネリスト
太田 明夫さん

ハンセン病問題を共に学び
共に闘う全国市民の会会長

トークショー 横溝 菜帆さん(俳優) ※他パネルディスカッションの登壇者

ビデオ メッセージ

豎山 勲さん
ハンセン病違憲国家賠償
請求訴訟全国原告団協議会
事務局長

屋 猛司さん
全国ハンセン病療養所
入所者協議会会長、
国立療養所邑久光明園
入所者自治会会長

ハンセン病家族
訴訟原告代表
原告番号21番

- 本シンポジウムは、**YouTube LIVE** による**オンライン配信**となります。
令和5年11月11日(土)の午後1時15分頃からアクセス可、
午後1時30分配信開始予定。
- 下記のウェブページ(人権ライブラリー・ウェブサイト内)
に、配信サイトのURL等を掲出。



<https://www.jinken-library.jp/news/detail/113102/>

※トップページ(<https://www.jinken-library.jp/>)からもアクセスできます。



このページから、以下のことができます。

本シンポジウムを“視聴する”



当日(11月11日(土))時間になりましたら、「視聴する」アイコンをクリックしてお入りください。

※YouTube LIVEの画面が開きます。

“プログラム”をダウンロードする



同ページから、前日(11月10日(金))午前10時以降、プログラムをダウンロードできます。

“アンケート”に回答する



同ページから、参加者(視聴者)アンケート入力フォームにアクセスできますので、シンポジウム終了後に御協力をお願いいたします。

主催 法務省、厚生労働省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、東京法務局、東京都人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進センター

後援 中小企業庁、全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、東京都、東京都教育委員会、東村山市、東村山市教育委員会、特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、NHK、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、日本財団(順不同、予定)

お問合せ先 公益財団法人 人権教育啓発推進センター「ハンセン病問題に関する『親と子のシンポジウム』」事務局

TEL 03-5777-1802(代表) FAX 03-5777-1803 E-mail hansen@jinken.or.jp URL <http://www.jinken.or.jp/>

みんなの人権110番

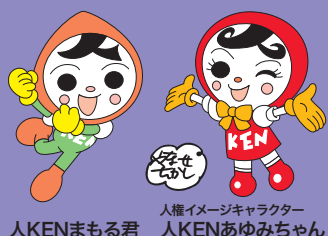
ゼロゼロみんなの ひやくとおばん
 **0570-003-110**

こどもの人権110番

ゼロゼロなの ひやくとおばん
 **0120-007-110**

女性の人権ホットライン

ゼロナゼロの ハートライン
 **0570-070-810**



人権のための図書館

人権ライブラリー

Human Rights Library JAPAN

Tel 03-5777-1919 / Fax 03-5777-1954

人権に関する図書、DVD等資料、無料会議室をお探しの方は、
人権ライブラリーまでお問い合わせください

<https://www.jinken-library.jp>

これまでの人権に関するシンポジウムはこちらから <https://www.youtube.com/jinkenchannel>